

2025 認知神経リハビリテーション・アドバンスコース（神経変性疾患・対面）／プログラム  
＜小脳・大脳基底核の運動調節系に対する介入可能性を探る＞ 開催日：2025.3.23

8:40-9:00：受付

9:00-9:10：オープニング（オリエンテーション、コースの位置付け、プログラム構成、懇親会案内など）

**9:10-9:30：講義① 神経変性疾患と認知神経リハビリテーション（菊地）**

キーワード：神経変性疾患の現象／神経症候学／認知神経リハビリテーション

目標：神経変性疾患の特異的な現象の観察を行い、PD、SCDの病態における認知神経リハビリテーションの臨床展開の可能性を学ぶ

**9:35-9:55：講義② 神経変性疾患に対する認知神経リハビリテーションの学習可能性（園田）**

キーワード：認知神経理論／身体と環境との相互作用／ニューラルネットワークと神経変性疾患の関連性

目標：認知神経理論と神経変性疾患との関わりを脳機能や運動学習メカニズムから理解する

**10:00-10:45：講義③ PDに対する観察-評価から病態解釈までの実際-（青木）**

キーワード：外部観察／内部観察／病態解釈

目標：PDの認知的視点における観察から病態解釈までの分析プロセスを理解する

**10:50-11:35：講義④ SCDに対する観察-評価から病態解釈までの実際-（奥田）**

キーワード：外部観察／内部観察／病態解釈

目標：SCDの認知的視点における観察から病態解釈までの分析プロセスを理解する

**11:40-11:55：前半の講義のまとめ（園田、三上、森）**

12:00-12:10：質疑応答

12:10-13:10：昼休憩

-----  
**13:10-13:50：講義⑤ 神経変性疾患における情報構築の課題（三上）**

キーワード：意図／比較／情報構築

目標：PD、SCDの情報構築には疾患特異的な傾向があることを把握し、病態に応じた観察や介入を行う必要があることを理解できる

**13:55-14:35：講義⑥ 神経変性疾患に対する課題の組み立て方（奥埜）**

キーワード：プロフィール／難易度設定／教育的視点

目標：病態分析に基づいた介入の難易度設定や妥当性を考慮した臨床展開を学ぶことができる

**14:40-15:30：講義⑦ PDにおける認知神経リハビリテーションの実践例1（高橋）**

キーワード：プロフィール作成／病態解釈／課題の構築

目標：PDの介入において認知神経理論に基づいた臨床展開を具体的に学ぶことができる

**15:35-16:25：講義⑧ SCDにおける認知神経リハビリテーションの実践例2（森）**

キーワード：プロフィール作成／病態解釈／課題の構築

目標：SCDの介入において認知神経理論に基づいた臨床展開を具体的に学ぶことができる

**16:30-17:00：シンポジウム -小脳・大脳基底核の運動調整系に対する認知神経リハビリテーションの介入可能性について-（奥埜、菊地、園田、三上）**

キーワード：観察の視座／神経変性疾患の学習について／認知理論の介入可能性

目標：これまでの講義を通して神経変性疾患における介入可能性や課題を理解する

**17:00-17:10：クロージング、本コースの学びから臨床応用へ向けて（森・高橋）**

17:10-17:20：質疑応答、エンディング（終了のあいさつ、入会案内、地域勉強会、その他の事業について）

-----  
18:00 懇親会（会場周辺、参加費5000円 ※詳細は別途ご案内いたします）